

「麻しん」の状況

2019年に入り、近畿や中部地方で麻しん患者が急増しています。

和歌山市においても5Wにおいて1件届出があり、さらに、今週（7W）においても下記の2件の届出がありましたので、お知らせします。

■ **10歳代 女性** 和歌山市内在住 高校生
病型：麻しん（検査診断例）
症状：発熱(2/9～)・発疹(2/13～)・コプリック斑
発病日：2月9日
診断日：2月12日（PCR検査診断）
接種歴：2回接種
推定感染地域：大阪市内

■ **30歳代 男性** 和歌山市内在住 会社員
病型：麻しん（検査診断例）
症状：発熱(2/6～)・発疹(2/11～)・咳・結膜充血
発病日：2月6日
診断日：2月13日（PCR検査診断）
接種歴：不明
推定感染地域：大阪・京都・岐阜への旅行歴あり

【全国の状況2019年 第1週～6週：速報値】 全国：167
三重県：49 大阪府：47 愛知県：17 東京都：11 神奈川：6 岐阜県：5
和歌山県：5

近畿・中部地方で急増し、現在、特に大阪府の増加が顕著です。

今後も広域的な地域において麻しん患者が発生し、医療機関を受診する可能性がありますので、今後の発生動向と、発熱や発疹を呈する患者が受診した際は旅行歴や予防接種歴の確認など、ご留意いただきますようお願いいたします。「麻しん」と臨床診断した場合は直ちに情報提供いただき、精度の高い麻しんの検査診断と感染防止対策を進めるために、PCRによる行政検査を行いますのでぜひ急性期の検体採取にご協力をお願いいたします。

連絡先

平日：和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL(073)488-5109
夜間・休日：和歌山市役所 警備室 TEL(073)432-0001